

2023年4月21日

各位

「NOBUNAGA DX Pitch -物流Tech編-」を開催しました

NOBUNAGA キャピタルビレッジ株式会社（代表取締役 峠 清孝、以下「当社」といいます。）は、2023年4月18日（火）に、Carbide Ventures、株式会社十六銀行とともに、「NOBUNAGA DX Pitch」を開催しました。

今回は「物流」をテーマに、2024年問題に対し、地域物流の存在意義や地域インフラの変革の方向性、新たなビジネスチャンスの可能性などについてお届けしました。なお、当日は、現地参加30名を含めた約100名の皆さまにご参加いただきました。



記

本イベントは2部構成に分けて実施し、Session1のキーセッションでは、発送最適化ソリューション「Loggia」を展開する株式会社オプティマインドの代表取締役 松下 健氏、BtoB貨物輸送で業界トップシェアを誇るセイノーホールディングス株式会社のオープンイノベーション推進室 Logistics Innovation Fund 室長 加藤 徳人氏をお迎えし、「地域物流の未来」をテーマにお届けいたしました。物流の2024年問題に対する課題が多く残る中、スタートアップと現場を知る企業の皆さまが連携し、二人三脚でソリューションを生み出していくことが重要であると、改めて理解することができました。

【Session1：キーセッションの様子】



Session2の「Next LEADERS Pitch」では、日本を代表する3社のスタートアップがピッチを行いました。

【ピッチ登壇者】

■Lazuli 株式会社 代表取締役 萩原 静庵 氏

Lazuli 株式会社：世界中の製品情報を整理し、誰もが使いやすい形にして提供するプロダクトデータプラットフォーム「LazuliPDP」を展開

■株式会社 Shippio COO 土屋 隆司 氏

株式会社 Shippio：貿易 SaaS の提供とフォワーディング業務の提供を通じて国際物流のDXを推進する、日本初のデジタルフォワード

■株式会社 souco 代表取締役 中原 久根人 氏

株式会社 souco：1年未満の短期利用を中心に、小ロット～1,000坪単位での倉庫利用を促進するシェアリングプラットフォームを提供

イベント終了後には、参加者と登壇者が名刺交換を行い、連携の可能性や意見交換を行いました。スタートアップ紹介だけでなく、地域の皆さまとスタートアップの出会いのきっかけ（＝イノベーション創出の機会）につながるイベントとなりました。

【Session2 : Next LEADERS Pitch 及び交流会の様子】



今後も NOBUNAGA キャピタルビレッジでは、「NOBUNAGA DX Pitch」をはじめとしたイベントを通じて、スタートアップと地域の新たなイノベーション創発に全力で取り組んでまいります。

「NOBUNAGA DX Pitch」とは

「NOBUNAGA DX Pitch」は、DX化による地域の成長を目的として開催しています。
 Carbide Ventures、株式会社十六銀行、NOBUNAGA キャピタルビレッジ株式会社の3社が主催となり、地域のDX化に貢献するスタートアップのご紹介や、連携サポートをさせていただきます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

コミュニティ推進部・唐木

TEL (058) 264-5516